連載

いのちのひろば（89）

毎月１回、中旬の水曜日に掲載

新しい認知症観をにんちしよう！
～認知症をにんちしよう会10周年～

一般社団法人小田原医師会　副会長
認知症をにんちしよう会　会　長
武井 和夫

たけい・かずお　昭和44年小田原市生まれ。県立小田原高校、埼玉医科大学卒業。埼玉医科大学神経内科入局。埼玉医科大学附属病院や平塚市民病院、総合太田病院を経て平成13年より武井内科医院に勤務、平成14年５月より同院院長。平成14年より小田原医師会理事、平成29年同副会長に就任。日本内科学会総合内科専門医、日本神経学会専門医、日本老年学会老年病専門医・指導医。認知症をにんちしよう会会長を務める）

今月のひとこと

認知症を自分ごとと捉え「新しい認知症観」を持つことで、認知症の人も住み慣れた地域で希望を持って自分らしく暮らし続けることが可能になります。みんなで「新しい認知症観」をにんちしましょう！

■ 認知症の一般的なイメージ

２０１９年12月に内閣府が行なった「認知症に関する世論調査」によれば、「認知症に対するイメージ」では認知症になっても、できないことを自ら工夫して補いながら、今まで暮らしてきた地域で、今までどおり自立的に生活できると答えた人の割合は僅か６・９％で、「認知症になっても、医療・介護などのサービスを利用しながら、今まで暮らしてきた地域で生活していける」32・６％や「認知症になると、身の回りのことができなくなり、介護施設に入ってサポートを利用することが必要になる」40・０％と比較して圧倒的に少数でした。一方で、「認知症になると、暴言、暴力など周りの人に迷惑をかけてしまうので、今まで暮らしてきた地域で生活することが難しくなる」８・０％や「認知症になると、症状が進行してゆき、何もできなくなってしまう」８・４％などネガティブな回答がありました。他のインターネットアンケートで「最もなりたくない病気」第一位なのが「認知症」で、認知症と診断されることが「この世の終わり」だと思っている方も少なくないと考えます。しかし、実際にはどうでしょうか。認知症には様々な原因疾患があり、一部には「治療可能な認知症」と呼ばれる病気の一群があります。また最近では、認知症の原因として最多であるアルツハイマー病による軽度認知機能障害（ＭＣＩ）や軽度認知症に対して、原因の一つと考えられている脳内に蓄積するアミロイドβというタンパク質の除去を促して病気の進行を遅らせる新しい治療が実施可能なっています（詳細は令和7年2月本紙「いのちのひろば」参照：（一社）小田原医師会ホームページで閲覧可能）。

■ 認知症基本法と新しい認知症観

２０２４年１月に認知症の人が尊厳を保持しつつ希望を持って暮らせる社会の実現を目指すために「認知症基本法（正式名称：共生社会の実現を推進するための認知症基本法：以下、基本法）」が施行されました。同年には、政府がこの基本法に基づいて施策を進めていくための認知症施策推進基本計画を取りまとめました。その中で、「新しい認知症観」が提示され、認知症になると何もできなくなるのではないことや、認知症になってからも一人一人ができること・やりたいことがあること、そして、認知症になっても住み慣れた地域で仲間等とつながりながら、希望を持って自分らしく暮らし続けることができるという考え方が示されました。認知症の人を含めた我々一人一人が、認知症を他人事と捉えて他者的視点から問題点を重視して認知症を疎外し絶望感を抱く／抱かせる、いわゆる古い認知症観から、認知症を我がこととして捉えて本人視点や可能性を重視して認知症とともに希望を持って進んでいく「新しい認知症観」へアップデートすることが必要です。そして、それぞれが個性と能力を十分に発揮しながら、共に支えあって生きることが重要です。

■ 認知症をにんちしよう会・10周年

前述の基本法の正式名称には「共生社会の実現を推進するための」という前文があり、本法律は認知症の人の尊厳や希望保持を前提とした「共生社会」の実現推進を目的としています。〝認知症をにんちしよう会〟は、小田原市と箱根町、真鶴町、湯河原町の一市三町で、医療と介護、福祉の専門職と各行政が協働して２０１５年に設立し、「私たちは、地域を医療、福祉、介護で支えます」をスローガンに掲げて活動を続けて今年10周年を迎えます。当初は、（一社）小田原医師会、（一社）小田原歯科医師会、（公社）小田原薬剤師会、小田原市グループホーム小規模多機能連絡協議会、ケアネットＯＨＭＹ（２０２１年より一社化）、認知症疾患医療センター曽我病院、小田原市地区訪問看護ステーション連絡協議会、（一社）神奈川県高齢者福祉施設協議会（小田原・足柄地区福祉施設連絡会）、神奈川県小田原保健福祉事務所、一市三町の地域包括支援センター、一市三町各担当課の18団体で発足し、２０１７年に神奈川県認知症ケア専門士会、２０１８年に県西地域リハビリテーション連絡協議会（２０２０年に一社）、２０２２年に（公社）神奈川県介護福祉士会、２０１４年に（公社）認知症の人と家族の会、２０２５年には（公社）神奈川県栄養士会が加わり、２０２５年８月の時点において合計23団体で共同運営しています。

医療と介護や福祉、行政そして本人・家族の多職種・多団体が協働する本会活動は、全国的にも稀有な活動です。当会では毎年５月から６月に認知症フォーラム：認知症に関する講演とシンポジウム、「認知症月間」の９月から10月に認知症の普及・啓発目的に秋のイベントを開催しています。各団体の特性を活かして様々な形式の啓蒙活動を実施するだけでなく、毎回、認知症に関する相談を受け付ける時間・場所を作り、これまでも多数の住民の皆様からの問い合わせに応じてきました。過去の認知症フォーラムにおける講演やイベントの様子、その他にも各団体が作成した認知症に関する動画が認知症をにんちしよう会ＹｏｕＴｕｂｅ公式チャンネルにアップしてありますので、ぜひご覧ください。また、本紙に認知症をにんちしよう会ＳＮＳのＱＲコードを掲載していますので、ご興味のある方はフォローをよろしくお願いいたします。

■ 認知症フォーラム２０２５（開催済み）

今年の６月15日（日）に、39歳時に若年性アルツハイマー型認知症と診断され、診断後はトップセールスマンの営業職から事務職へ異動して勤務を続けながら「おれんじドア：認知症の人とその家族を対象とした相談窓口で、認知症当事者同士が交流できる場所」の実行委員会代表や自らの経験を語る活動を続け、２０２０年に国の認知症本人大使「希望大使」に就任している丹野智文さんを小田原へお招きしました。午前中は丹野さんご一家の実話を元にした映画「オレンジランプ」の上映会、午後は丹野さんによる基調講演と、丹野さんと認知症をにんちしよう会のメンバー、加藤小田原市長によるトークセッションを行いました。当日は午前・午後あわせて延べ２８０名が参加し、合計74名のスタッフと共に丹野さんの思いが込められた映画を鑑賞し、講演では丹野さんの言葉を直接聞いて、丹野さんの強い思いに触れる事で、それぞれに多くの気づきや考える切っ掛けをいただきました。

■ 認知症をにんちしよう会　秋のイベント２０２５
本年９月28日（日）10時から開催予定

小田原駅前の地下街ＨａＲｕＮｅおだわらのハルネ広場とうめまる広場で、認知症をにんちしよう会秋のイベント２０２５を開催します。例年と同様のステージ発表：ゴスペルや合唱、寸劇、講和などや、各種ブース出展・脳年齢測定・体組成計測定・物販ほか、相談ブースの設置も予定しています。お時間のある方やご興味のある方は、是非とも足をお運びください。そして、みんなで「新しい認知症観」をにんちしましょう！（開催の詳細は一市三町のホームページや、前述の認知症をにんちしよう会ＹｏｕＴｕｂｅ公式チャンネルやフェイスブック・ページなどでご確認ください。）

認知症をにんちしよう会の活動をSNSでアップしております。
ご興味のある方はフォローよろしくお願いいたします。

認知症をにんちしよう会　検索

フェイスブック　インスタグラム

YouTube チャンネル登録 →
はこちらから！是非！この機会に！

次回は９月中旬に「インフルエンザについて～点滴ワクチン等含めて～」を掲載（予定）です。

小田原市休日夜間急患診療所の体制について

小田原市休日夜間急患診療所

休日や夜間に急に発症した方の診療を目的とした一次救急の医療機関です。軽症の患者様を対象としていますので、症状によっては、重症患者様を受け持つ「二次救急病院」へ受診していただくことになります。応急処置を目的としていますので、受診後はかかりつけ医を受診するなど適切な医療を受けてください。

〒２５６－０８１６　神奈川県小田原市酒匂２－３２－１６
☎０４６５－４７－０８２３　駐車場（第１～４）あり
https://www.odawara.kanagawa.med.or.jp/nighttime/

診療科と受付時間　※ 12月29日～1月3日の6日間は休日の診療をします。

	平日（夜間） 午後７時～同10時	日曜・祝日（昼間） 午前８時半～同11時半 午後１時～同３時半	土曜・日曜・祝日 （夜間） 午後６時～同10時
内　科	○	○	○
小児科	○	○	○
耳鼻咽喉科		○	
眼　科		当番日のみ	
歯　科		日曜・祝日（昼間） 午前９時～同11時半 午後１時～同３時半	

小田原市・箱根町・真鶴町・湯河原町の方対象

8月

日	月	火	水	木	金	土
					1 13:00～14:00 小児科	2 14:30～15:30 産婦人科
3	4 13:00～14:00 内科 循環器科	5 13:00～14:00 整形外科	6	7 13:30～14:30 内科	8 13:30～14:30 耳鼻科	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18 13:30～14:30 内科	19 13:30～14:30 内科	20 13:30～14:30 内科	21	22 13:15～14:15 皮膚科	23 13:30～14:30 内科 神経内科
24	25	26 13:00～14:00 内科	27	28	29	30
31						

9月

日	月	火	水	木	金	土
	1 13:00～14:00 内科 循環器科	2 13:00～14:00 整形外科	3	4 13:30～14:30 内科	5 13:00～14:00 小児科	6 14:30～15:30 産婦人科
7	8 13:30～14:30 耳鼻科	9 13:00～14:00 内科	10 14:30～15:30 小児科	11	12 13:15～14:15 内科	13
14	15	16	17 13:30～14:30 内科	18	19 13:15～14:15 皮膚科	20 13:30～14:30 内科 神経内科
21	22	23	24	25	26 13:30～14:30 内科	27
28	29	30 13:00～14:00 内科				

小田原医師会地域医療連携室では、医師による電話相談を行っています。無料です。事前にお電話ください。

〈上記の問合せ先〉
小田原医師会地域医療連携室
☎0465-47-0833
月曜～土曜（日曜、祝・休日、12/29～1/3休み）
午前９時～正午／午後１時～午後５時

医療機関検索は
小田原医師会のサイト
から利用できます

https://www.odawara.kanagawa.med.or.jp/

小田原医師会より住民の方々へ